

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	地産地消推進事業	シート番号			A 一般事務事業
担当部署名	産業振興 局	農政 部	農水産 課	評価責任者(課長名)	竹平

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	4	産業を振興し、地域の持続的発展を支えます	後期実施計画の位置付け
			施策	6	元気な農業・農空間のあるまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 20 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画	堺市農業振興ビジョン			
5	事業実施の経緯	平成29年3月策定の「堺市農業振興ビジョン」のなかで位置付けている堺市農業の将来像を実現するための一つの戦略として設定している「堺産農産物の市内流通・消費の拡大」をはかるため、地産地消を推進する。平成20年3月策定の「さかい地産地消推進計画」に基づき設置した「堺市地産地消推進協議会」において、地産地消の具体的な取組活動を実施し地産地消の推進を図っている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 (堺市地産地消推進協議会)		
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	堺市内の消費者、農業者、ホテルやスーパー等の実需者		
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	広く市民に、安心・安全で新鮮な堺産農産物を周知し、消費拡大を図り、地産地消を推進する。		
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	「地産地消推進協議会」での検討を踏まえ、次に掲げる事業を実施している。 ① 小学校の給食用食材として、堺ブランド農産物(「堺のめぐみ」及び大阪エコ農産物「泉州さかい育ち」)の供給を促進 ② 堺産農産物の普及・消費拡大や食育の推進を図るため、各区保健センター調理講習会での「堺のめぐみ」の利用や市内小学校で播種、定植、収穫を体験する食育活動を実施 ③ ホームページや食育月間など様々な媒体や機会を通じて市民へ地産地消に関する情報を提供 ④ 堺ブランド農産物の認知度向上・流通・消費の拡大を図るため、「堺市農業祭」、「各区民まつり」や量販店のキャンペーンにおいてブースを設置し普及・啓発活動を実施 ⑤ 堺産農産物の市内流通・消費拡大を図るため、タマネギの生産から販売までをサポートするモデル事業を実施し、生産者が出荷しやすく、安定的・効率的に供給できる集出荷物流システム構築を支援 ⑥ 農業の担い手や耕地面積が減少傾向にある中、将来に向けて農業を持続させ農地を保全していくために、農商工連携事業として大麦の生産・販売について事業化の可能性を調査・検討 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
10	直接実施以外の主な支出先	堺市地産地消推進協議会			

Ⅲ. 投入量

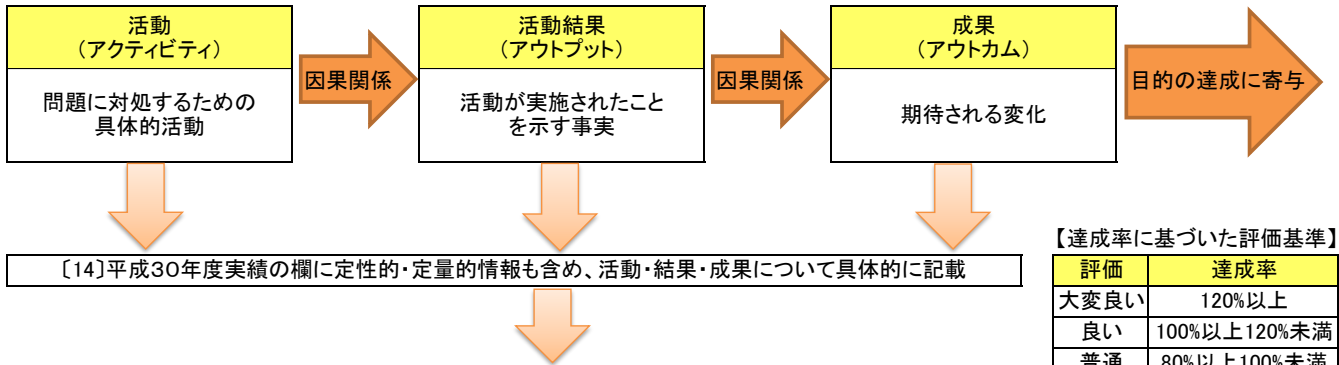
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	3,091	3,543	3,749	3,752	
主な事業費内訳	地産地消推進協議会負担金	千円	2,800	3,252	3,452	3,452
	地場産農産物PR委託料	千円	291	291	297	300
		千円				
		千円				
		千円				
財源内訳	国・府支出金	千円				
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
その他( )	千円					
一般財源	千円	3,091	3,543	3,749	3,752	
12 人件費 (b)	千円	14,760	14,760	14,760	14,580	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	17,851	18,303	18,509	18,332	

# 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	地産地消推進事業	シート番号	15-39
-------	----------	-------	-------

## Ⅳ. 評価(測定・分析)

### ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

#### 【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績																						
活動実績と成果	<p>14 堺産農産物の学校給食等での使用拡大を図るとともに、市内流通・消費拡大を図るため、生産・集出荷物流システムのモデル事業を実施し、システムの検証・改善を行うとともに生産体制の充実を推進。 【モデル事業の経過】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>栽培指導</th> <th>集荷期間</th> <th>出荷者数</th> <th>出荷量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29.11~H30.3</td> <td></td> <td>4名</td> <td>約0.6t</td> </tr> <tr> <td>H30.5~H30.6</td> <td></td> <td>4名</td> <td>約1.7t(事業対象外の規格外品約1.3t含む)</td> </tr> <tr> <td>H30.9~</td> <td>R1.5~R1.7</td> <td>17名(4名)</td> <td>約16.0t(約3.2t) ※数値は点検シート作成時の見込、()内数値はシート作成時の実績</td> </tr> </tbody> </table>						栽培指導	集荷期間	出荷者数	出荷量	H29.11~H30.3		4名	約0.6t	H30.5~H30.6		4名	約1.7t(事業対象外の規格外品約1.3t含む)	H30.9~	R1.5~R1.7	17名(4名)	約16.0t(約3.2t) ※数値は点検シート作成時の見込、()内数値はシート作成時の実績
	栽培指導	集荷期間	出荷者数	出荷量																		
	H29.11~H30.3		4名	約0.6t																		
	H30.5~H30.6		4名	約1.7t(事業対象外の規格外品約1.3t含む)																		
	H30.9~	R1.5~R1.7	17名(4名)	約16.0t(約3.2t) ※数値は点検シート作成時の見込、()内数値はシート作成時の実績																		
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度															
		「堺のめぐみ」取扱販売店舗数	店舗	目標値	45	52	56	60														
				実績値	48	48	49															
				達成率	107%	92%	88%															
	評価			良い	普通	普通																
	算出方法・設定根拠など		堺市農業振興ビジョンの年度目標																			
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度															
		ハーベストの丘農産物直売所「またきて菜」年間実質出荷者数	人	目標値	480	352	358	364														
				実績値	346	344	343															
達成率				72%	98%	96%																
評価	少し悪い			普通	普通																	
算出方法・設定根拠など		堺市農業振興ビジョンの年度目標																				

### 業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>「堺のめぐみ」取扱販売店舗数が増加しない要因としては、「堺のめぐみ」の流通量が十分でなく、流通ルートが確保されていないこと、また、販売店の統廃合などの影響が考えられる。農産物直売所「またきて菜」の実質出荷者数が増加しない原因としては、出荷者の高齢化等により、出荷が困難な生産者の増加等が考えられる。</p>
----	---

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。